

道母連だより



北海道知事
鈴木直道

新年、あけましておめでとございませう。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

また、日頃から北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、さらには、民間企業と連携した奨学金の給付、公共施設での清掃業務や保育事業の受託による就労の場の確保など、道内各地においてひとり親家庭の方々への支援活動に取り組みられるほか、様々な場面でひとり親家庭の福祉の向上や自立の促進

にご尽力されていることに心から敬意を表します。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が道民の皆様

道では、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、道民と事業者の皆様が感染リスクの低い行動を実践していただく「新北海道スタイル」の取組を進めております。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

様に寄り添った支援を行うため、昨年策定した第四期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」や第二期「北海道子どもの貧困対策推進計画」に基づき、公的資格取得のための就労支援、母子家庭等就業・自立支援センター等における就業支援や弁護士等による養育費などの相談支援のほか、母子父子寡婦福祉資金の貸付け等による経済的な支援、ひとり親家庭等生活支援事業による子どもの学習支援などを一層推進してまいります。

新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたって

理事長 畑 和子

新年あけましておめでとございます。今年こそは！と希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、オリンピック開催で華やかなはずでしたが、コロナ禍によって、マスクの着用と新しい生活様式に一変しました。コロナが猛威をふるい、自粛生活の中、各事業所の職員のみなさんには、飛沫防止の工夫をし、うつらない、うつさない、一日も休むことなく継続できたことに敬意を表し感謝するのみです。

3密を避けて、会員のブロック研修会を開催しましたが、意見交換の中で、若いお母さんが「休校中の食事づくりが大変な時に、クオカードをもらい助かった」という声もあって安堵しました。

久し振りに会い、思いを声に出したことで楽しい時間を過ごしたのではないかと感じました。

コロナの終息も見通せませんが会員の高齢化の中、会員の減少など課題は山積みです。心をひとつにして組織の活性化に取り組みでま

第94号

発行日/令和3年1月1日
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-1003
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワート

コロナ時代に未来を拓く

子ども達の夢にエールを!



杉村 優利 6歳

仮面ライダーになって、悪い奴をやっつけたい。



大江 紘大 6歳

警察官。泥棒を捕まえて反省していい人になれるようにしてあげたい。



吉野 美羽 6歳

保育士さん。ちっちゃい子が可愛くて一緒に遊びたいから。



櫻井 悠人 5歳

お店屋さん。保育園のお祭りでお店屋さんになって商品を買ってもらえた時すごく嬉しかったから。



芦澤 佳祐 小学2年

ゲームが上手になって、コインをいっぱい取りたい。



岡 姫愛音 小学2年

ペットショップ屋さん。動物が好きだから。一番はうさぎが好き。



中山 真閃 小学1年

空手家かボクサーになって、瓦を割ってみたいし、男だから強くなりたい。



池田 湊斗 小学1年

警察官になって、悪い人から困っている人を守る。



皆川 明日翔 小学4年

警察官になり、白バイに乗って違反した人を捕まえる。



請井 小鳥 小学3年

歯科医になる夢のため、大学進学を考えて室蘭栄高校に行きたい。



佐藤 裕貴 小学2年

ジェット機かブルーインパルスのパイロットになって、ママに見せたい。

いいですか
いくらのろくても
かまいませんよ
たいせつなことはね
いつでも前をむいて
自分の足で自分の道を
歩くことですよ
あいだみつお



小田 万彩 小学6年

サッカー選手になりたいので、力を入れて練習する。



森 琴美 小学6年

オペラ歌手になって、きれいな衣装を着て舞台上で歌いたい。



林 由愛 小学5年

インテリアコーディネーターになって、誰かの家をすてきな家になりたい。



小林 未昊 小学4年

音楽家になり、音楽で世の中を楽しみたい。



小南 りお 中学3年

保育士。小さい子が可愛くて大好きだから笑顔で楽しい保育士さんになりたい。



環 心愛 中学2年

物を作る職業に就いて、自分も他の人も笑顔にする。



大廣 柊翔 中学1年

イラストレーターになって、面白い絵を書いて皆を笑わせたい。



竹田 大和 中学1年

プロサッカー選手になって世界で活躍し、親(母)孝行したい。



中鉢 亮良 養護学校高等科1年

パン屋さんになって、大好きなお母さんに美味しいパンを食べてもらいたい。



伊藤 琥瞳 高校1年

バスケットで大学に行き、プロになって日本を代表するPG(ポイントガード)として活躍したい。



福田 淳人 高校1年

音楽に携わる仕事に就き、音楽で人を喜ばせたい。



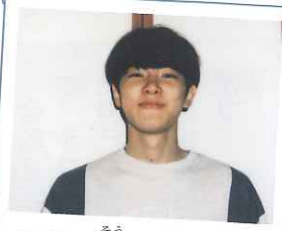
堺 隼都 高校1年

建築関係の仕事に就き、お母さんに家を建ててあげたい。



三上 翔音 高校2年

看護師になって、困っているや病気の人を助け、手を差し伸べる。



藤原 颯 高校2年

勉強と部活を頑張り、人を助ける仕事に就く。

夢七訓

夢なき者は理想なし
理想なき者は信念なし
信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし
成果なき者は幸福なし
故に幸福を求める者は
夢なかるべからず

渋沢栄一

令和2年度 ブロック研修会報告

名寄市母子会

大場 恵子

道北

開催日 令和2年10月25日
場所 旭川ときわ市民ホール
参加数 16名

本年度の当番地は名寄市でしたが、天塩・稚内からの交通の便を考慮して旭川市での開催とし、連日のコロナ報道の中で、三密を避け代表者のみの参加としました。

小雨降る肌寒い中、外部からの来賓挨拶はありませんが、今までの母子会の為に尽力下さった渡部タミ様の席を設け、在りし日の姿を偲び全員で黙とうを捧げました。感謝を申し上げると共に更に母子会発展の為に頑張っていくとの思いを重ねた事は、その後の演題「母



最前列に用意された前理事長渡部タミさんの席

子会の在り方と現状」についての質疑応答形式の講演の中に表れました。明年1単位数が減となる報告を受け、驚きと一抹の寂しさもありました。一方、今の単位数は今後の会の解散、休会という事態に傾くことのない様自主努力をしながら、会員同士の深い絆で継続し続けるとの力強い発言で鼓舞する会長の思いを聞き、形はそれぞれ違っても自分たちの会は自分たちで造り上げ、出された課題に挑戦するしかないとの思いを改めて考えさせられました。限られた参加人数だからこそ、本音で話し合え、単位数同士の絆の大切さを再確認した内容となりました。

最後に、次回開催地の富良野市での再会は、コロナが収束して盛大に行われることを願い、多くの会員の参加で思い出となる研修会になることを祈念しています。



コロナ禍、マスク姿で熱心に討議を重ねる参加者

道南

伊達はまなす会

井樫 和子

開催日 令和2年11月8日
場所 登別市労働福祉センター
参加数 23名

今回新型コロナウイルス感染症拡大の中での研修会となりましたので、三密にならない様気をつけ、マスクをし、換気をし、こんな中でも登別アシリの会代表の芳賀美津枝様と助手の坂口京子様のお2人をお迎えして、アイヌ文様刺繍の伝承文化のお話と刺繍を教えてくださいました。

江戸時代に疫病が流行し大勢の人が亡くなりました。この事がきっかけで刺繍をするようになり、疫病退散という魔よけの願いが込められています。そんなマスクを菅総理が官房長官の時に使ってくれた事から話題となり沢山の注文が入っていると、特に大阪の方



個別に丁寧なご指導

に人気あるそうです。そんなマスク刺繍とても楽しみにしていました。とても丁寧

に教えていただきアツという間の時間でした。

アシリの会芳賀様はアイヌ文化をもっと大勢の方に意味を理解してほしいと、小さい時はアイヌだということ隠してきたそうです。

今コロナの大変な時だから、早くおさまり、普通の生活に戻れます様にお願い、一針一針刺繍させてもらいました。貴重な体験が出来ました。感謝しています。ありがとうございます。



アシリの会代表芳賀美津枝さん、助手の坂口京子さんを囲んで

令和2年度共同募金助成金は、4ブロック研修会、広報紙発行に充当させていただきました。ご報告し、お礼を申し上げます。

道母連事業報告

カフェテラスBoren事業

母子会の皆様方のエールを受けカフェテラスBorenの店頭にも少しずつお客様の笑顔が戻ってきました。GOTOキャンペーンに東京が追加された10月1日からは団体客や修学旅行生のすがたを多く見かけるようになりました。館内消毒も増えスタッフは継続して衛生対策に励んでいます。密に集合している団体客やマスクを着用せずに来店されるお客様には困惑してしまう場面もあります。

航空機の減便で夕方以降は極端に人通りが途絶える為まだ短縮営業中の店舗も多く、9

月末で閉店したお店もありました。当店の売り上げ回復も未だ厳しい状況でコロナ禍の影響を身近に感じていますが、お客様に「食」で元気になっていただきたいと新メニュー「レモネソーダ」を始め、ソフトクリームも季節で変化をつけています。来店されたお客様に

「また寄りたくなる思い出のお店」と心に刻んでいただけるよう今日も皆で更なる努力を続けていますので、是非お立ち寄りください。
(10月31日記・平賀由里子)



GOTO キャンペーンもあり徐々に回復する光景



マスク着用でも心が伝わる接客努力を



お客様へも感染対策のお願いを徹底

母子家庭等就業・自立支援センター事業

室蘭市にあるセンターでは道央圏(胆振・日高・石狩・空知・後志)の五地区を職員三名で担当しています。

各地区で事前訪問を行い行政機関等に、合同会議・就業セミナー無料法律・巡回相談会の周知をしその合間に企業訪問を行い、リーフレット設置のお願いや求人票の依頼をしたりと企業との連携を取っています。センター内においても通常通りの業務を行っています。

道央圏という広い地域を回らなければならぬ等とても大変で、難しい仕事だと感じています。今年には特に新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、後志地区では七月のセミナーは参加者が集まらず中止となりました。

日高地区においては当初予定していた六月から十月に延期になりましたが、高校でのクラスター発生のため全てを中止しました。日常の仕事でも感染症対策等、いつもと違う事が増え困惑しているところもあります。



石狩地区合同会議 (10月8日)



アロマ体験セミナー (10月9日)



広い5地区を担当する3名の職員

今後も相談者が抱えている悩みや求職・転職の相談、奨学金等の情報提供についてもしっかりと対応していきたいと考えております。
(荒井 裕子)



新人 8名の自己紹介

研修会初参加の感想

渡邊菜保子

先輩たちが普段から気をつけていることがわかって私も改めて注意して仕事をしようと思いました。

大川 香

掃除の仕方や汚れの落とし方など私生活でも役に立つ知識が身につきます。

阿部加奈子

ヒヤリハットについての話し合いでは少しの事でケガや事故につながるため気を引き締めて作業しなくてはいけないと感じました。ただ清掃すればいいと言うわけではなく、人間的にもとても勉強になる内容の研修会でした。



講師の社会保険労務士 千葉俊幸先生

令和2年度
清掃作業従事者研修会
9月5日(土) 母子センター研修室において、28名の参加で開催されました。毎年6月に開催される研修会は、コロナで3か月遅れになりましたが、万全な感染対策の中、プログラムに添って進められ無事に終了しました。



監督・指導者の主任3名 全員発言を導く進行見事です



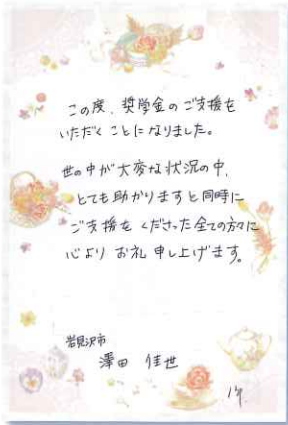
ヒヤリハット経験を発表



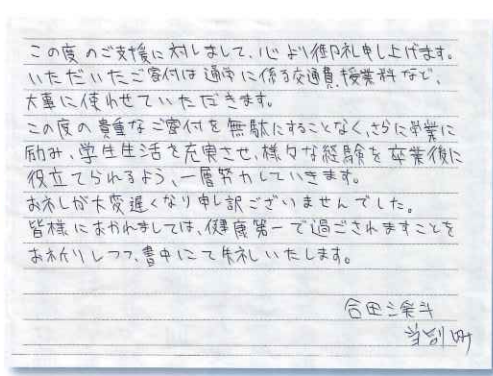
熱心に研修する参加者



DVD 視聴

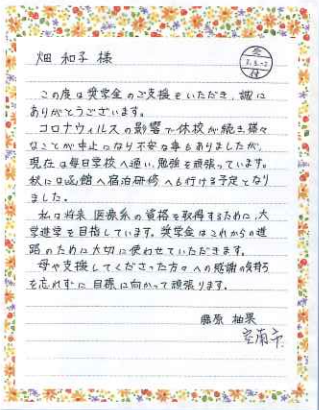


岩見沢市 澤田佳世さん

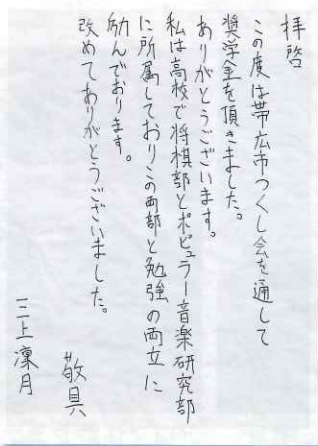


当別町 合田深斗さん

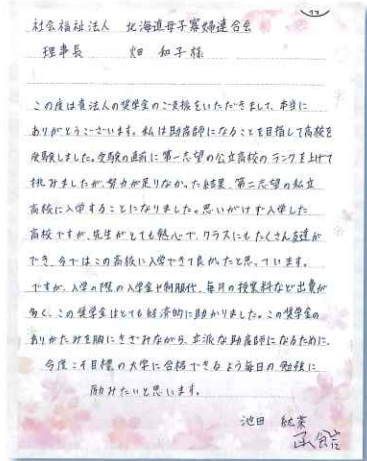
奨学金御礼状



室蘭市 藤原柚果さん



帯広市 三上凜月さん



函館市 池田結菜さん



一泊二日笑顔の親子自然体験



清流日本一の沙流川ラフティング

薪割り、火おこし、カレーライス作り
外で食べるご飯っておいしいね!



- ☆活動内容
 - ① 「激流！沙流川ラフティング」
 - ② 「お茶タイム」(保護者)
 - ③ 「アウトドア・クッキング」
- ☆参加費 無料(宿泊費・食費交通費)
- ☆会場 国立日高青少年自然の家
帯広市つくし会に所属する親子(代表甲谷千春)
- ☆期日 令和2年9月12日(土)
13日(日)一泊二日
- ☆ねらい 自然体験活動を通して、日高の自然を楽しみ、親子の絆を深める機会とします。

令和2年度
国立日高青少年自然の家教育事業
みんなの
自然体験キャンプ

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「事前14日間の健康確認シート」記入など万全な準備の中、5家族14名の親子が参加しました。日高の自然を満喫し、親子の絆が更に深まる経験になりました。



「子どもの教育応援大使」の
香川照之さんから
マスクプレゼント

メッセージ
早くこれが必要なくなって、また元気に外で遊べる日が来ることを願っています!

トンボ・てんとう虫・カマキリなど昆虫いっぱいマスク

拝啓
釧路明輝高校三年菅原剣心申します。この度は奨学金の支援をいただき誠にありがとうございます。心から感謝しております。高校生活を有意義に過ごし、知学部に励み、精神的にも安定した生活を送る事ができました。これからは、立派な社会人になれるように努力し、頑張ってまいります。最後になりましたが、職員の皆様のご健康と貴団体の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。
原田知典
令和二年九月十三日
釧路明輝高校 菅原剣心
敬具

釧路市 菅原剣心さん

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連会
理事長 畑 和子 様

旭川市 原田知典さん

この度は、奨学金を頂きありがとうございます。心から感謝しております。高校生活を有意義に過ごし、知学部に励み、精神的にも安定した生活を送る事ができました。これからは、立派な社会人になれるように努力し、頑張ってまいります。最後になりましたが、職員の皆様のご健康と貴団体の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。
原田知典

社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連会
理事長 畑 和子 様

小樽市 中村蓮さん

私は、第三種電気主任技術者の資格をとりたいと思っています。今回頂いた奨学金はその費用につかいたいと思います。大切に大切にしたいです。ありがとうございます。氏名 中村蓮 (小樽市)

令和2年度も
道新振興基金さん、北洋銀行さん、
みどりとこころの基金さん
から助成をいただき、
343名に奨学金が給付されました。

苫小牧市 門馬里緒菜さん

この度は奨学金をありがとうございます。私は、将来看護師になるため看護専門学校に目指そう毎日一生懸命受験勉強に励んでいこう。頂いた奨学金は、進学のために使わせていただきます。本当にありがとうございます。

この度は奨学金を頂き誠にありがとうございます。将来は、看護師になることが夢なので、大学専門学校に進学することを目標としています。これから進路に向けて、英検代が模範代として使わせていただきます。ご支援、本当にありがとうございます。
仁平 英怡奈

登別市 仁平英怡奈さん

令和2年度 馬主社会福祉財団より助成

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団では、社会福祉法人等に施設の設置、拡充又は改築、備品の購入等の助成事業を実施しています。道母連は、令和2年度施設整備事業として助成を受け、母子福祉センター厨房の排気ダクト取替工事が行われました。11月中旬から2週間の工事期間中は食堂を臨時休業し、日頃ご利用いただ

ている近隣のお客様にはご不便をおかけしましたが、無事に終了しました。



工事完了場所に貼る標識(プレート)

新しく清潔な設備で火災などの心配もなく安心して調理をし、美味しい料理を提供したいと思っています。(成田久恵)

祝 受賞

北海道社会福祉協議
会長表彰 (8月25日)

大廣奈津子会長
千歳市母子会さん
(会長 大廣奈津子)
社会福祉事業者
(労力的援助)として
の功績による

かき醤油

2015年
モンドセレクション
最高金賞

化粧箱入り150ml
お得用1,000ml

会員価格 330円
会員価格 1,030円

有限会社サンセイル



(左) 美鈴珈琲 (簡易抽出型)
5袋入り 1箱 400円 (税込)
(値下げしました)

(右) 美鈴珈琲キャラメル&いぶりなっつ
(安平町早来製造)
1セット 500円 (税込)

新千歳空港 カフェテラス Boren 応援商品

感染拡大を繰り返すたびに、売り上げ減が顕著になります。スタッフが見込みを添えた工夫で販売しています。研修会や各種行事のお土産にご利用ください。

道母連母子福祉振興基金へ ご芳志ありがとうございます

基金累計額(R2・11・30現在)
一一一、六六七、四三七円

おくやみ

ご逝去をいたみ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

野 みつ子さん 令和2年2月26日
元社会福祉法人北海道母子福祉会
理事長

母子福祉会理事長として2期、
母子福祉センターの運営に力を尽
くされました。

小松キクエさん 令和2年8月26日
元後志地区岩内町母子会会長

岩内町母子会の名物会長で、
道母連に来るときはいつも魚の干
物を背負って来て下さったのが目
に浮かびます。

内田フサ子さん 令和2年9月21日
前岩見沢市母子寡婦福祉会会長
岩見沢市母子相談員としても
活躍されました。

編集後記

年明け早々コロナに翻弄された令和2年は世界中を席巻し、収束しな

まま新しい年を迎えました。道母連事業は役職員の弛まぬ努力で感染を防ぎ、疲弊しながらも継続中です。各種会議や研修会は、十分な感染対策をしながら徐々に再開しつつあります。

子ども達はコロナで長い休校が続き、再開後もマスク着用、手洗い・消毒の徹底、密になることを避ける不自由な日々は、大きなストレスとなっている事でしょう。しかし、子ども達は家族や地域、先生や友人に支えられながら大きな夢を抱き、逞しく前向きに進んでいます。今現在の夢、新しく変わってゆく夢を心から応援したいものです。一方、大人も今までもとは違う価値観や新たな生き方を考える日々になりました。

感染拡大を繰り返しながらも戻りつつある当たり前の日常に感謝し、オリンピックが無事に開催され、世界中の人々に平穏が訪れますようお願い、令和3年の夜明けを心して迎えましょう。

(安達史子)